

2021年12月26日 主日礼拝 <音楽礼拝>

司 会
祈 禱
奏 楽

賛 美 讃美歌98番「あめにはさかえ」
(God is working for my good) (主の名を賛美しよう)

使徒信条

聖 書 ① ピリピ人への手紙4章4～7節 (P312)
②③ マタイによる福音書章11章28～30節 (P17)

音 楽 ① Cloud By Day&感謝組(V)
②③ 倉富亮太氏・山中惇史氏

メッセージ ① 「喜びがなければキリスト教ではない」丸藤剛介伝道師
②③ 「いのちの授業」坪井永城副牧師

賛 美 「今日まで守られ」(聖歌292番) 献金
頌 栄 「ああ感謝せん(ヘンデル)」アーメン5唱
祝 禱 大川従道主任牧師

あなたに命じておいた小さいのを守りよ。見よ、わたしは世の終りまで、いつもあなたと共にいるのである。(マタイ二十八の二十)

【大和ニュース】

☆今日は一年最後の「主日礼拝」です。コロナ禍の中で、共に主を賛美し、祈りを捧げられたことを心から感謝し、主に栄光です。

☆本日ゲストに倉富氏と山中氏をお迎えできて大感謝です。祝福を祈ります。

☆本日、J.plus クリスマス会あり。14時半。泉チャペルにて。YouTube 配信あり。

* 今週も祈禱会を大切に！①水曜19時半②木曜10時半 説教は小林副牧師。

* 今週の早天は火・水・木の朝6時。31日(金)はお休み。* 会堂掃除は金曜12時より。

* 今年も一年守られたことを感謝し、「年末感謝献金」をお捧げしましょう。袋は受付。

* ヌイヌイさん大活躍。ご苦労様でした。売り上げは 120,000 円。ご献金感謝！

☆『初詣礼拝』は、元旦①9時 ②11時 大川牧師による基調メッセージ。

☆来年初の日曜礼拝(2日)①9時 ②11時 説教と独奏はポーマン宣教師夫妻(7時はなし)

石の枕

「かれは叫んだ。お母さん、お父さん、僕は大きくなりました。もう一度、人間に戻って！」

ラーゲルレーブの『ニルスの不思議な旅』の一節を引用して、大江健三郎はノーベル文学賞受賞の記念講演を展開しました。そして「小説家である自分の仕事が、言葉によって表現する者と、その受容者とを、個人の、また時代の痛苦からともに回復させ、それぞれの魂の傷を癒すものとなることを願っています」と、芸術の不思議な治癒力への希望と信頼を語って講演を終えました。格調高いこの講演は、ユマニストであり、「上品な」大江健三郎の面目躍如たるものがあります。

「家族のみんなへ、14年間本当にありがとうございました。僕は旅立ちます」大江健三郎の記念公演の全文が新聞に華々しく掲載された同じ週、一人の中学生の「遺書」が紙面に載りました。数々の「いじめ」を受けて自死した中学生の長文の「遺書」には「いじめ」の生々しい様子とともに、家族の者への感謝の言葉と「いじめ」をした人たちへの「とりなし」の言葉とも思えるものがありました。

大江さんは、脳に障害を担って生きる息子の音楽が、「泣き叫ぶ暗い魂の声」であり、「それが彼自身の暗い悲しみのかたまりを癒し、回復させている」とともに「同じ時代を生きる聴き手たちを癒し、回復させる」ものとなっていることを語っています。冒頭のニルスの叫びは、大江さんとその息子光さんの叫びでもあるということでしょうか。

しかし、もう一人の少年の叫ぶ声は、遺書と自死においてしか酬われなかったのも事実です。“お母さんは、昔、教会につれていって言ったこともあったよね。あのときは、とてもいきたかった”遺書を入れた封筒の表に書かれていたというこの言葉に胸がつぶれる思いがします。

*教会と牧師たちのために祈りをもって支えて下さい。次世代の若者たちがサタンにやられないように祈り助けて下さい。ヨハネ8章12節は本当です。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
Aコース: 黙示録17章～マタイ1章 Bコース: ゼカリヤ1章～創世記2章